

取組の概要

1. 地域のお土産品として、地元で採れるゆずを使ったゆずジャムを開発した。開発にあたってアドバイザーからは商品コンセプト、衛生管理、価格設定、製造などの助言を行った。
2. 地域の観光施設開園イベントに合わせて「ゆずジャム」と「さくら茶」の販売を開始した。



申請者概要

- 事業者名／平家谷ふるさと振興会
- 業 種／農業
- 事業参加者数／8名（平家谷おばちゃんガイド）
- 希望内容／ゆずジャムとさくら茶のパッケージ、価格設定、宣伝方法への助言。

派遣の内容

ゆずジャム

- 地元産のゆずを100%使うなど原材料にこだわり、生産計画を立てるよう助言。
- パティシエを紹介し、プロによる製造指導を行った。
- 販路については、まず地元から広げていくよう助言した。



製造指導の様子

さくら茶（桜の花の塩漬け）

- 既存パッケージと価格設定の見直しを助言。
- 平家谷商品のキーワードを「赤」と「椿」にするなどコンセプト提案。



派遣事業終了後

- 自分達の納得のいく商品にしたいと試作を重ねた。
- 保健所への製造届やラベルデザインを自力で行った。
- 地域の観光施設開園に合わせて地元新聞紙に商品が紹介され、開園イベントから販売を開始した。



お土産品として販売を開始（2019年3月）

今後の予定

- 引き続きびんご6次産業化アドバイザーの助言を受けながら、販路先の検討と商品の改良を行う。
- 栄養成分表示、衛生管理の強化などを行う。

申請者の声

- 地域に活かされる事業に取り組まなければならないと思った。
- 来年度も再挑戦し、自分達の納得する商品にしたい。